

# 2022年度事業報告

## 1. 会議

### 1.1 総会

第50回定時社員総会を2022年5月31日(火)に大阪にて開催した。主要な議題は、2021年度事業報告と収支決算報告、2022年度事業計画と事業予算であった。

### 1.2 諮問会

第11回諮問会を2022年4月21日(木)にパシフィコ横浜で開催した。総会に提出する議案に関し、幅広く意見を伺った。

### 1.3 理事会および運営審議会

理事会を3回(第122,123,124回)、運営審議会を2回(第31,32回)開催した。総会・諮問会への提出議案、学会運営等について審議した。

### 1.4 賞選考委員会

第27回賞選考委員会を2022年4月15日に開催し、第46回レーザー学会業績賞(論文賞、進歩賞)及び奨励賞を審議した。また、第43回年次大会実行委員会が論文発表賞の選考結果を、第14回産業賞選考委員会が産業賞の選考結果を、賞選考委員会に報告した。

また、第15回産業賞選考委員会を開催し、第15回産業賞の選考を行った。

## 2. 事業, 行事

### 2.1 編集委員会および会誌出版

会誌「レーザー研究」を年12冊(第50巻4～12号および第51巻1～3号)、毎月中旬に発行した。このため、編集委員会を12回(第505～516回)開催し、企画編集、進捗フォロー、次号ゲラ刷りのチェック等を実施した。第51巻1号より会誌「レーザー研究」の表紙を変更した。

### 2.2 研究委員会および研究会

研究委員会を4回(第254～257回)、研究会を12回(第563～574回)開催した。開催した研究会のうち、主催は9回、他学会との共催は3回であった。主催の研究会では資料「研究会報告」を作成し、参加者に販売するとともに、年間購入予約者に頒布した。

### 2.3 技術専門委員会

技術専門委員会は11件(新規1件、継続10件)を実施した。うち2件が年度末で活動を終えた。学会ホームページ上に各委員会の設立・継続にあたっての目的を明らかにし、賛同者を募り、学会内コミュニティ形成のための基盤作りに努めた。

### 2.4 学術講演会年次大会

第43回大会は、併設展示会「Laser Solutions 2023」と併せ、2023年1月18日(水)～20日(金)の平日に、ウインクあいち(名古屋市中村区)にて開催した。シンポジウムは12テーマを企画した。参加者は806人、講演数は488件であった。

### 2.5 国際交流

“Optics & Photonics International Congress (OPIC) 2022”が、2022年4月18日(月)～22日(金)の期間、パシフィコ横浜およびオンラインにて開催された。15の専門会議が開催され、うち“Advanced Lasers and Photon Sources Conference (ALPS)”を当学会が、“Optical Wireless and Fiber Power Transmission Conference (OWPT)”を光無線給電技術専門委員会が主催した。

### 2.6 人材育成

#### (1) レーザー特別セミナー

2022年4月20日～22日に開催された“レーザーEXPO2022”に併設して、レーザーの基礎に重点を置くとともに、レーザー応用技術、産業界への普及例、および最新の製品開発のトピックスまでを網羅した特別セミナーを開催した。

## (2) レーザー安全セミナー

2022年11月9日～11日に東京都立産業貿易センター 浜松町館にて開催された“光とレーザーの科学技術フェア 2022”との同時開催で、2022年11月10日にレーザー安全セミナーを開催した。

## (3) レーザー夏の学校(第29回レーザー夏の学校実行委員会, レーザー学会共同主催)

光・レーザー分野の研究に携わる学生及び若手研究者の交流, 研究意識向上を目的として, 当学会として教育及び学術交流の観点から本行事に支援を行った。第29回レーザー夏の学校は2022年10月1日～2日の期間, 北海道大学にて開催され, 54名の参加者があった。

## 2.7 展示会

### (1) レーザーEXPO 2022

レーザー機器の展示会“レーザーEXPO2022”をパシフィコ横浜展示ホールにて, 2022年4月20日(水)～22日(金)に開催した。

### (2) Laser Solutions 2023

第43回年次大会(ウインクあいち)において, レーザー機器, 書籍等の展示会“Laser Solutions 2023”を併催し, 23社の出展があった。

## 2.8 表彰, 認定, 賞推薦・助成推薦

### (1) 表彰

第46回レーザー学会賞(業績賞・論文賞, 業績賞・進歩賞, 奨励賞), 学術講演会第42回年次大会論文発表賞および学会活動に貢献のあった者の表彰を行った。また, レーザー関連技術及び事業において顕著な功績のあった者にレーザー学会産業賞(優秀賞, 奨励賞, 貢献賞)の表彰を行った。

### (2) 名誉会員・上級会員認定

名誉会員候補者は称号審査委員会, 第122回理事会で審議され, 第50回総会で承認された。2021年度に申請があった上級会員候補者は称号審査委員会で審議され, 第122回理事会で承認された。認定された会員には本人同意を得たのちに, 結果を会誌およびホームページに掲載した。

◇名誉会員認定者: 2名

◇上級会員認定者: 1名

## 2.9 支部活動の展開

支部活動の活性化による地域の状況に応じた会勢拡張と位置付けて, 国内6支部にて, 地域の会員へのレーザー関連学術情報提供サービス推進のため, 単独および他学会支部との共催によるセミナー, 研究会, 講演会開催, 情報交換, 支部表彰等の活動を実施した。

## 2.10 関連学協会等との連携および協力

他学会, 研究団体および関連業界との共催, 協賛, 後援による研究会, 講演会等の開催を通じて, 関係団体との連携, 協力を推進した。日本光学会と双方の学術講演会で, 応用物理学会・ALAN コンソーシアムとレーザー学会学術講演会で, ジョイントシンポジウムを実施した。

## 2.11 特別事業計画

1973年4月13日にレーザー懇談会として発足してから, 2023年4月13日に学会創立50周年を迎えるため, 創立50周年記念行事の企画を行った。

### 3. その他

#### 3.1 会員動向(年度比較)

賛助口数は年度末に減少し、前年度と同等の実績となった。会員数は前年度末の減少を反映して推移。会員数の月別推移から、年次大会の影響が大きいことがわかる。現地対面で実施した年次大会では講演応募数が過去最高を記録し、学生会員数は増加。会員数に民間が占める割合は、昨年度と変わらず 3 割強である。光・レーザー応用分野の幅広い取込みが課題である。

2022, R4 年度(2023 年 3 月)

個人会員 1,247 名(正会員 1,081 名、学生会員 159 名、名誉会員 7 名), 賛助会員 94 社(117.25 口)

(参考)

2021, R3 年度(2022 年 3 月)

個人会員 1,218 名(正会員 1,094 名、学生会員 118 名、名誉会員 6 名), 賛助会員 94 社(117.75 口)

2020, R2 年度(2021 年 3 月)

個人会員 1,214 名(正会員 1,088 名、学生会員 120 名、名誉会員 6 名), 賛助会員 97 社(121.75 口)

2019, R1/H31 年度(2020 年 3 月)

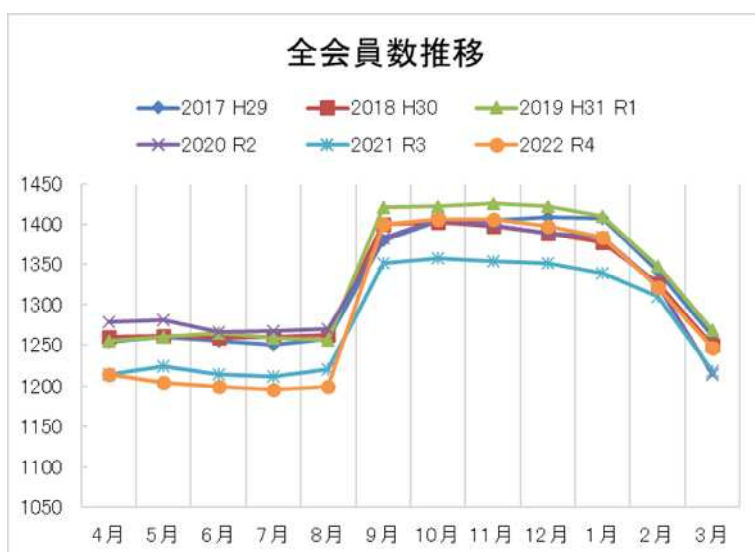
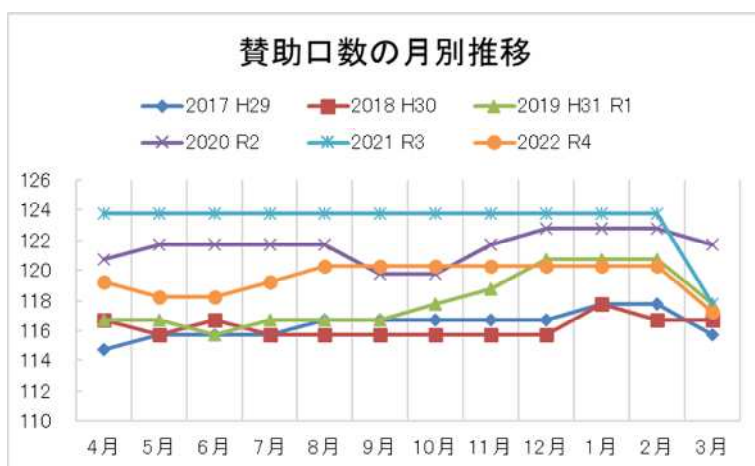
個人会員 1,269 名(正会員 1,132 名、学生会員 132 名、名誉会員 5 名), 賛助会員 93 社(117.75 口)

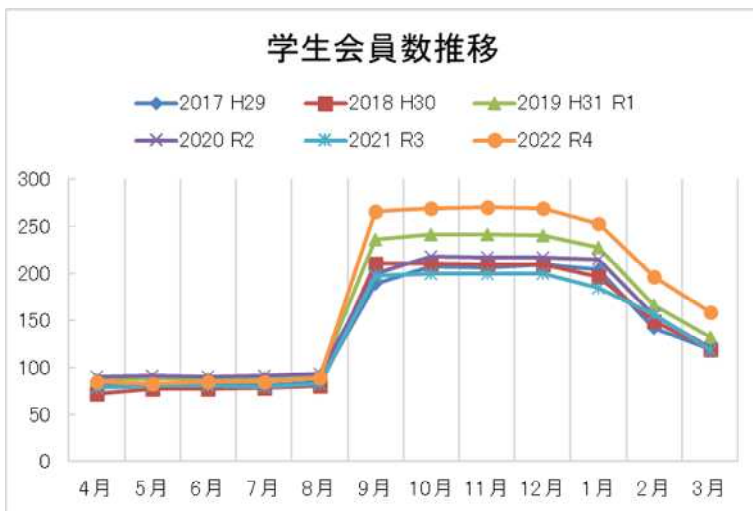
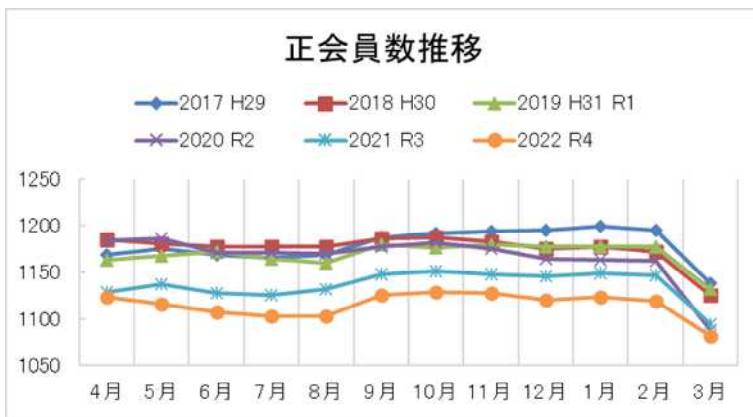
2018, H30 年度(2019 年 3 月)

個人会員 1,250 名(正会員 1,126 名、学生会員 119 名、名誉会員 5 名), 賛助会員 92 社(116.75 口)

2017, H29 年度(2018 年 3 月)

個人会員 1,262 名(正会員 1,139 名、学生会員 119 名、名誉会員 4 名), 賛助会員 90 社(115.75 口)





2023年3月現在の会員の内訳

